

# 消費市民社会の一員として 自分たちでできることを考えてみよう

## 消費者市民社会とは

消費者が公正かつ持続可能な社会の形成に積極的に参画する社会と定義されています。それは消費者一人一人が、自分のことだけでなく、**社会全体のことや次の世代のために消費行動について考え行動する社会のこと**です。

私たちの商品の選び方や生活の仕方がよりよい社会の実現につながる大きな力を持っています。

## 商品の選び方で世界は変えられる

### 商品を選ぶ時のポイントは？



### 商品の背景を知ろう

私たちは安い商品やテレビなどのCMで目に触れる商品を選びがちです。しかし環境に優しい原材料を使っているか、生産や廃棄の際の環境への負荷を考慮しているか、児童労働や不当に安い賃金で生産されたものではないかなど、どこで誰がどうやって製造しているかという背景を考えて商品選択をすることが必要です。

- ・賞味期限、消費期限
- ・産地、メーカー
- ・サイズ
- ・色 など

## 持続可能な社会をめざして—SDGs—

### SDGsってなに？

地球上のあらゆる問題を解決し、よりよい未来をつくるために定められた国際社会共通課題が「SDGs」です。持続可能な開発目標という意味であり、17の目標と169のターゲットが設定されています。この課題達成のためには、私たち一人ひとりの協力が必要です。

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## エシカル消費

エシカルとは「倫理的な」という意味で、エシカル消費は人や社会、環境のことを考えた消費行動のことで、「SDGs」の17のゴールのうち、特にゴール12に関連する取り組みです。

消費者が商品を購入するときに様々な問題を考慮した選択をすると、事業者も様々な問題に配慮した商品づくりを行うので、よりよい社会の構築に繋がります。



### エシカル消費とは？

①地域でとれた食材や生産された商品を選ぶ



②必要なものだけを購入する



③適切な価格の商品を選ぶ



④森林保護や海洋保全につながる商品を選ぶ。



もっと  
知りたい

### フェアトレード(fair trade)

公正な貿易という意味で適正な価格で商品を買取る仕組みのことで、フェアトレード認証団体の認証ラベルの付いた商品を選ぶことで、発展途上国の人たちの自立や環境保護などを支援することにつながります。

### 食品ロス

日本では、本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食品が約523万トン\*であったと推計されました。これは日本人一人当たりが毎日おにぎり1個分のご飯を捨てている計算になります。国連で採択されたSDGsのターゲットのひとつに、2030年までに世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させることが盛り込まれるなど関心が集まっています。

\*i 農林水産省及び環境省2021年度推計

## <消費者市民社会>のPoint

### 消費者市民社会を実現するために行動しよう。

地球の生態系や貧困問題などに配慮して、生産・製造した商品が消費者が選び、意見を伝えることで、持続可能な社会が実現します。

よく見て、考えて買い物をし、  
安心・安全な生活を送ろう！

広告などの情報をうのみにせず、情報を集めてよく考えて商品を選択する。

それ、  
本当かな？

有名人の  
書きこみを  
信じても  
いいの？



商品に問題があった場合や商品の要望・意見は企業に伝える。



環境に配慮した生活をする。



消費生活センターにも情報提供しよう！

自分たちがどんなことができるか話し合ってみよう。

